

2022年

288号

5月18日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp



5月のゴールデンウィークのさなか5月6日(金)久々の行動制限なしの連休で多くの人が遠出をする中、年金者組合は第61回シティウォークで越谷市内の緑とお花を楽しみました。

五月晴れの朝9時に越谷駅東口に集まったのは、吉田健治さん、宇佐美とし子さん、曾我光枝さん、草薙恵美子さん、古川正治さん、山本英郎さん、五十嵐光範さんの7人。

まずは中央市民会館の正面広場に一年前ほどに出来た江戸時代に日本一の力持ちと呼ばれた「三ノ宮卯之助」の顕彰碑を見学。次に道路を挟んだ市役所前で移転された「相扶共済」の石碑を見学。これ

第61回シティウォーク 越谷市内の「緑とお花」を楽しみ 「越谷アリタキ植物園」を見学

は越ヶ谷順正会という国民健康保険類似組合の第1号を記念したもので、越谷指定有形文化財です。

新装された市役所の8階には展望ラウンジあり、9時から16時まで誰でも昇って景色を見る事ができます。



越谷生まれ、育ちの吉田健治さんが景色を見ながらいろいろ説明してくれました。

元荒川の中土手を新宮前橋(旧寺橋)へ、川沿いの花壇には既にチューリップが終わり、菖蒲にはまだ早かったのですが、5月になり北側の用水路も水が入り新緑がまぶしかったです。久伊豆神社の長い参道を通り、まずは拝礼。奥には卯之助が上げたといわれる50貫の力石もあります。

ここで飛山ますみさんが途中参加。名物の藤は終わりがけていましたが、藤棚の後ろの池をめぐると暖かい陽ざしを浴びて奥の島には亀が



重なつて甲羅干しをしています。神社と並列した緑の森公園に西側には約500本の芍薬が植えられています。この日は満開には1週間早かったのが残念でした。

せっかくなので隣接する「越谷アリタキ植物園」(入園料100円)も見学しました。これは、市に寄贈された故有瀧龍雄氏の植物園を整備し、新たに市の植物園として開園したものです。そして昼食は、参加者が持ち寄った料理やビールなどを分け合い、わきあいあいと懇談しました。

食後、越谷市指定文化財・記念物・旧跡・越ヶ谷御殿跡の碑を見学。越ヶ谷御殿は徳川家康によって慶長9年(1604)に設けられた御殿で、御殿の建物に関する詳細は不明ですが、その広さはおよそ現在の御殿町全域と推定されているそうです。

最後は市の天然記念物にされて「有瀧家のタブの木」。歴史ある黒堀に囲まれた旧家内にあるタブノキです。幹回り約3・7m、樹齢は約400年といわれています。ご苦労さん会は、越谷駅前にもどり「サイゼリヤ」で今回の希望と次回の希望を話し合いました。14時頃解散しました。

(五十嵐)

点 睛

お年寄りにも
優しい政治を！

岸田政権は、公的年金額の22年度の改定率を「マイナス0・4%」と定め、昨年度につづき、年金削減を2年連続で実行しました。

国民に「自己責任」と「弱肉強食」を強いる新自由主義路線を強力に推し進めてきた自公政権は、年金制度について、物価や賃金などに関わる「指標」にもとづきながら、年金の支給水準を下げ続けるという改定のルールを強化・徹底してきました。

今回の削減は、その改定ルールの強化・徹底の総仕上げとして、安倍政権が導入し、21年度から始まった「賃金マイナススライド」によるものです。

厚労省のモデル世帯の試算では、老齢基礎年金(満額)は月6万5075円から6万4816円に259円の減額、老齢厚生年金(夫婦2人分)は月22万496円から21万9593円に903円の減額となり、10年間(13・22年度)で、物価は5・6%上がったのに年金は1・1%のマイナスとなり、6・7%も目減りすることになります。貧困と格差の拡大をまねく年金削減は中止し、改定ルールを抜本的に見直して、「減らない年金」へ転換を迫りましょう！

又、岸田自公政権が今年10月から強行しようとしている75歳以上の医療費窓口負担の2倍化中止を求める請願署名の提出集会が行われ、「高齢者は所得が低く、病気も多く抱えており、医療費負担率は現役世代の2倍以上だ」「国民全体の問題だ、子や孫たちの生活を守るためにも奮闘しよう」と7万1406人分の署名を提出、累計で64万3039人分になりました。

夏の参議院選挙では、お年寄りも安心して生活出来る政治に転換する為に、皆で力を合わせてガンバリましょう！(森 秀夫)

第62回シティウォークは「第一工場ごみ処理施設」見学コース(90分間見学)です、予約が必要です
往復ともバスを利用します、参加をお待ちしております